

# ニュースレター

発行責任者 大塚 実  
東京電力パワーグリッド株式会社  
群馬給電所  
群馬県前橋市本町1丁目8番16号  
027-898-4672

05号

トピックス

## 群馬給電所紙上見学会へようこそ！！

昨年からの新型感染症は感染が収まらず出口は見えない状況です。このため給電所見学会が開催は困難な状況が続き、お客様のご要望にお応えができず心苦しく思っております。そこでニュースレター第5号では、紙上見学会として当直長3名に普段の業務や気を付けていることについてインタビューを行いました。

★最初は1直勤務のT当直長です。T当直長、1直の業務のについて紹介してください。



1直勤務のT当直長

◎1直勤務のTです。

最初に当直勤務のローテーションからご紹介すると、当直勤務は1直から始まります。普通の会社員で言えば月曜日の勤務に該当するんですね。そのため休みの期間中にあった出来事をすばやく確認することから仕事が始まります。

そしてそのあと、その日の作業停止の内容や需要の状況などを確認して、どこで設備の故障が発生したらどのように停電復旧していくか、当直のメンバーと一緒に確認していきます。皆で同じ認識を持っていないと停電復旧に手間取り、停電時間が長引くことになりかねないので、この確認はとても重要なことです。

作業停止が多い日は、この確認作業をいったん中断して、停止操作を行います。停止操作は時間の制約がありますが、必要な確認はしっかりと行いながら操作をしていきます。安全な給電操作を常に心がけています。

★1直勤務ではどんなことに気を付けていますか？

先ほどもお話しした通り、1直は席に座るとすぐに作業停止や需要の状況を確認して、どの設備で故障が発生したらどうなるか、どう復旧するかを当直のメンバー全員で確認していきます。需要の状況（送電線に流れる電気の状況）というのは当然、事前に予測していますが、例えば天候が予想と大きく変わって電気の使用量が増えたとか、予定外の設備点検で作業停止が追加になったとか様々な要因で予測と違う状況になることがあります。こういった不測の事態にも的確に対応できるように、短時間に状況を把握し、当直のメンバー全員で共有できるように心がけています。

★ありがとうございました。続いて2直のO当直長にご登場いただきましょう。O当直長、2直の業務について紹介してください。

◎2直勤務のOです。

2直勤務は、夏の需要で言えば、午後の需要ピークの時間帯からの勤務です。1直が作業停止した設備の作業が終了し、使用操作を行うのが2直の業務です。事前に作成してある手順表に従い試充電試験の操作を行うこともあります。作業が順調に終わらなかったときは、設備所管箇所と作業延長の調整を行い、関係するお客様へ作業延長のご了解をお願いしていきます。このお願いも時間の制約があるなかで、正確に丁寧に行っていきます。

また、2直は雷に遭遇することが多いです。夏の雷シーズンは夕立が起きる時間帯に差し掛かると雷レーダーの情報をチェックし雷に備えます。



系統を確認するT当直長とメンバーのみなさん

# ニュースレター

05号

群馬県内の送電設備は、消弧リクトルを備えた設備と再閉路リレーを備えた設備が混在しています。消弧リクトルと再閉路リレーでは事故時の対処内容が異なるので、設備ごとの対処内容を整理して頭に入れています。最近の夏の気象として、群馬県より栃木県のほうで強い雷雲が発生しやすようを感じています。

## ★2直勤務ではどんなことに気を付けていますか？

2直の業務では異常時の対応のほかに、お客さまとの操作打合せがあります。この業務は1直、2直ともに行う業務ですが、操作安全のための重要な業務です。お客さまにはお時間をとっていただかなくてはならないですが、給電所員もできるだけ明瞭簡潔を心がけています。最近では、お客さまのご都合にできるだけ合わせられるようにメールを活用した操作手順打合せの仕組みを導入しました。ぜひこの仕組みをご活用いただきたいと思います。



2直のO当直長と  
メンバーの皆さん

## ★ありがとうございました。では最後に3直のI当直長にご登場いただきましょう。I当直長、3直の業務について紹介してください。



3直勤務のI当直長

### ◎3直勤務のIです。

3直は、皆さんのが家庭で寛がれている時間帯から朝までの勤務です。夜間とはいえ停電が発生すればお客さまへご迷惑が掛かりますから、系統状態の把握や電気の流れの監視もおろそかにできません。需要や電圧の変化が小さくなってきた時点で、翌日以降の設備停止に備え送電線や変電所の切替を行います。このとき、系統操作によって潮流や電圧に変動が生じないように細心の注意を払います。

## ★3直勤務ではどんなことに気を付けていますか？

3直の業務には、系統監視や翌日以降の設備停止等に備えた系統切替などの系統操作に加え、操作手順表の作成があります。操作手順表というのは、操作する設備名、操作日時、A接地（変電所の短絡接地機構）を付ける場所、操作手順などが記載されています。これに基づいて安全確実に操作を行います。したがって操作手順表に誤りがあるってはいけないので、班内でしっかりと確認します。万全を期するために他の班が作った操作手順表も3直の時にチェックし、疑問点があればみんなで解説します。自分たちが作成した操作手順表で操作を行うのが原則ですが、お客さまとの操作打合せのために他の班が作成した操作手順表を理解することも必要なのです。安全確実な操作のため、操作手順表を複数のメンバーで確認することは3直の大切な業務です。

いかがでしたでしょうか？群馬給電所の当直は、電気の安定供給のために日々頑張っています。これからも群馬給電所の当直業務にご理解、ご協力をよろしくお願いします。

群馬給電所当直へのご意見、ご質問がありましたら、群馬給電所までお寄せください。

## ご意見・ご感想をお待ちしております。

「群馬給電所 NewsLetter」をお読みになったご感想・ご意見をURL、QRコードまたは同封のアンケート用紙からお寄せください。たくさんのご感想・ご意見をお待ちしております。

<https://customform.jp/form/input/78629/>

News Letterがご不要なお客さまはお手数ですが [gunq.kyuso@tepco.co.jp](mailto:gunq.kyuso@tepco.co.jp) までご連絡ください。

